

|                            | 長岡平野<br>西縁断層帯  | 新津断層   | 月岡断層   |
|----------------------------|--|--|--|
| 地震の規模:<br>モーメント<br>マグニチュード | 7.46<br>(気象庁マグニチュード<br>7.9に相当)                       | 6.45<br>(気象庁マグニチュード<br>6.7に相当)                         | 6.76<br>(気象庁マグニチュード<br>7.1に相当)                 |
| (参考※)                      | 平均活動間隔<br>約 1,200 年~3,700 年<br><br>断層の活動性<br>3m/千年程度 | 明確な活動性は明らか<br>になっていない。<br><br>月岡断層より、活動性<br>は低いと考えられる。 | 平均活動間隔<br>7,500 年以上<br><br>断層の活動性<br>0.4m/千年程度 |

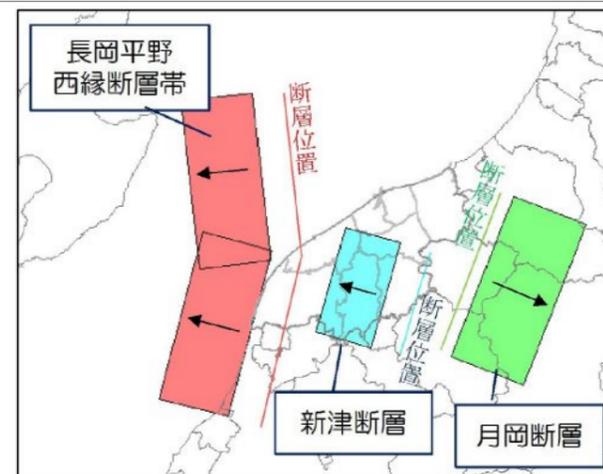
※(参考) 国の地震調査研究推進本部の活断層帯の長期評価(算定基準日:平成 27 年 1 月 1 日)及び東京大学地震研究所 佐藤比呂志教授の助言を参考として記載しています。

【地震発生確率について(地震調査研究推進本部資料より)】

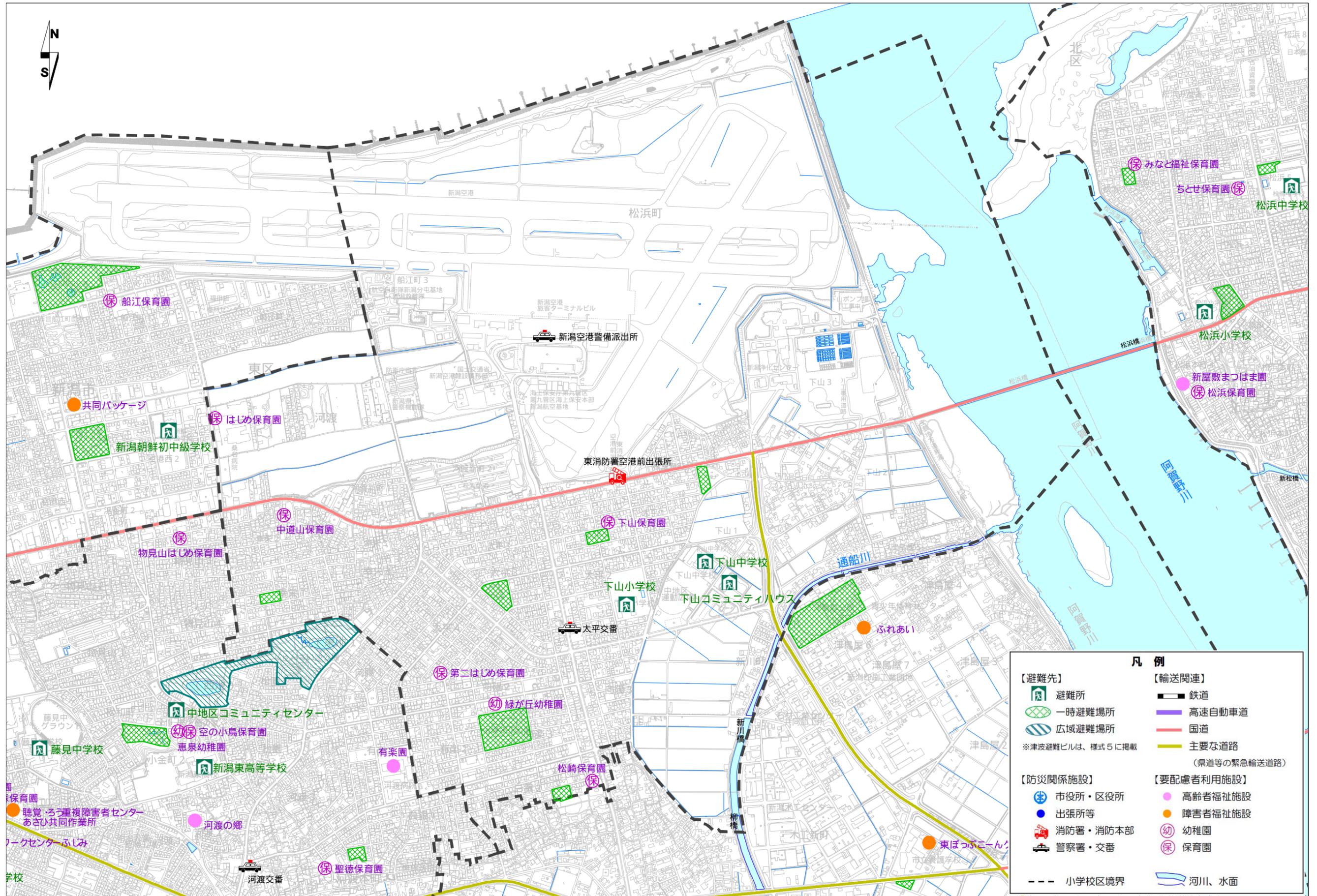
過去の地震活動の時期や発生間隔は、幅を持って推定せざるを得ない場合が多いため、地震発生確率は不確定さを含んでいます。また、新たな知見が得られた場合には、地震発生確率は変わることがあります。

<<モーメントマグニチュードと気象庁マグニチュード>>

モーメントマグニチュードは、地震で岩盤が動いた面積等をもとに計算するため、計測に時間を要しますが、エネルギーの規模を正確に測定することができます。これに対して、気象庁マグニチュードは、地震計で計測される波の振幅から計算しており、迅速に発表することができます。



← は、断層の傾きを示しています。

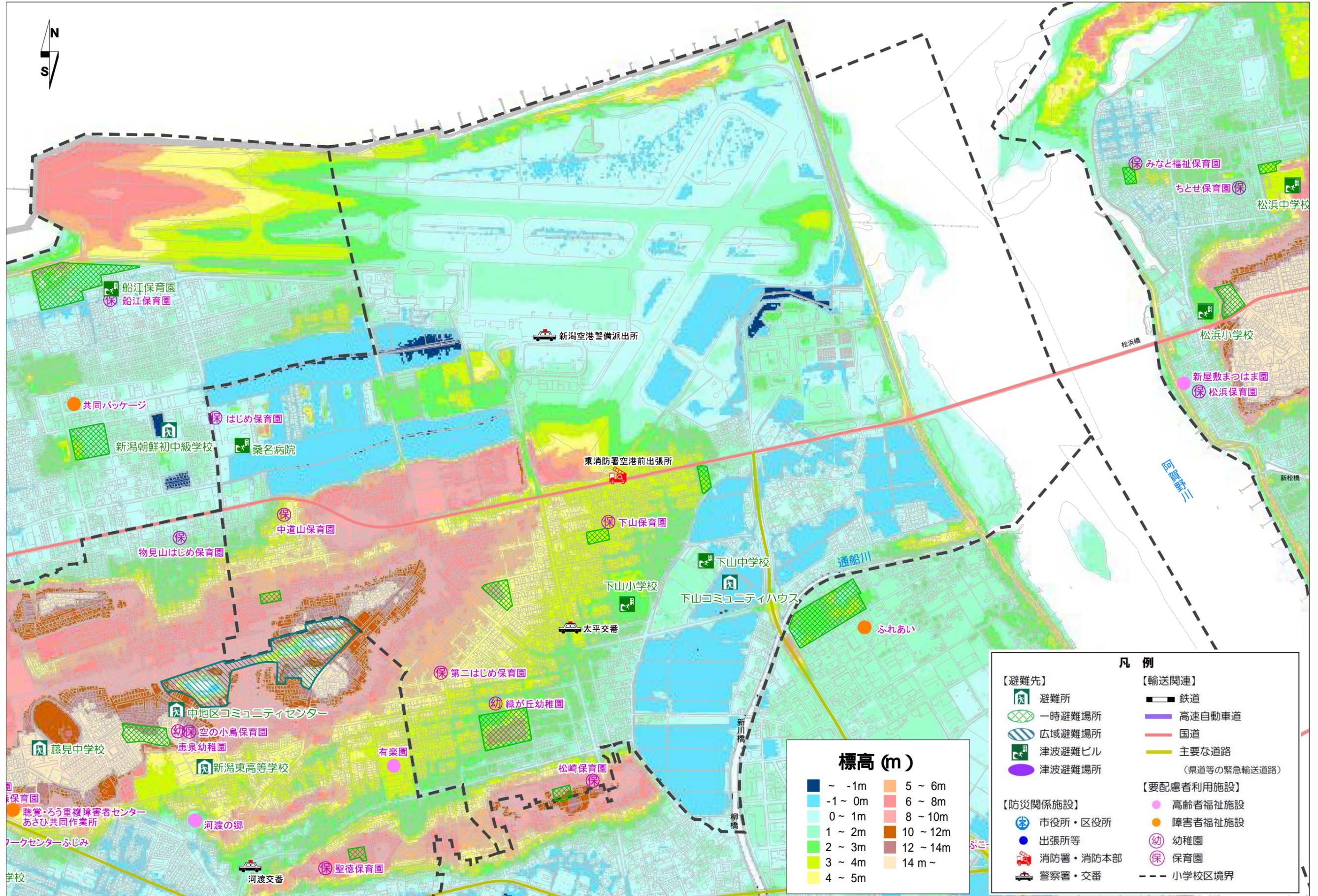


| 凡例              |                       |
|-----------------|-----------------------|
| 【避難先】           | 【輸送関連】                |
| 避難所             | 鉄道                    |
| 一時避難場所          | 高速自動車道                |
| 広域避難場所          | 国道                    |
| ※津波避難ビルは、様式5に掲載 | 主要な道路<br>(県道等の緊急輸送道路) |
| 【防災関係施設】        | 【要配慮者利用施設】            |
| 市役所・区役所         | 高齢者福祉施設               |
| 出張所等            | 障害者福祉施設               |
| 消防署・消防本部        | 幼稚園                   |
| 警察署・交番          | 保育園                   |
| --- 小学校区境界      | 河川、水面                 |

[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年,平成25年,平成26年)

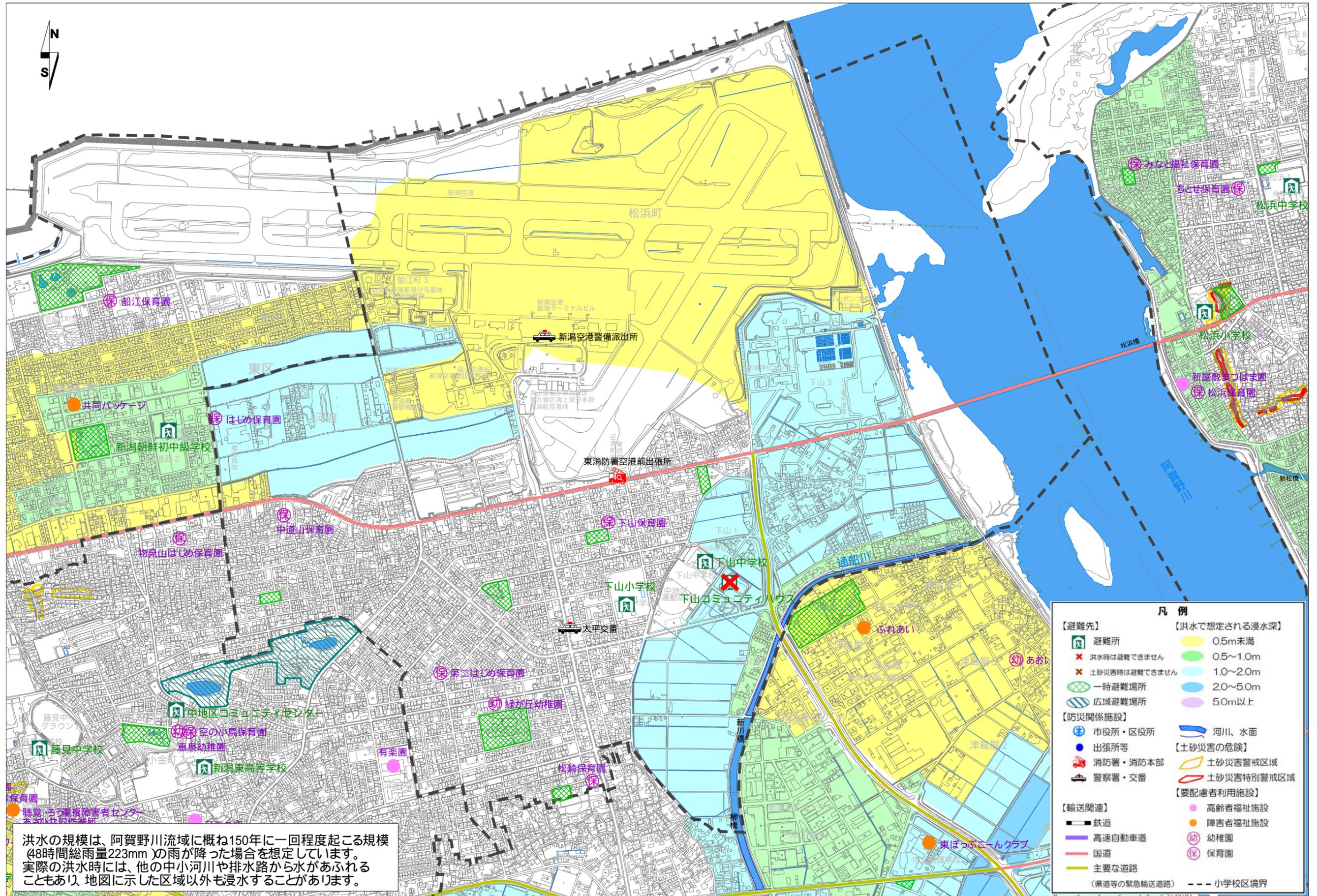






【出典】 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年) 5mメッシュDEM (国土地理院, 平成25年)

0 100 200 400 600 800 1000m



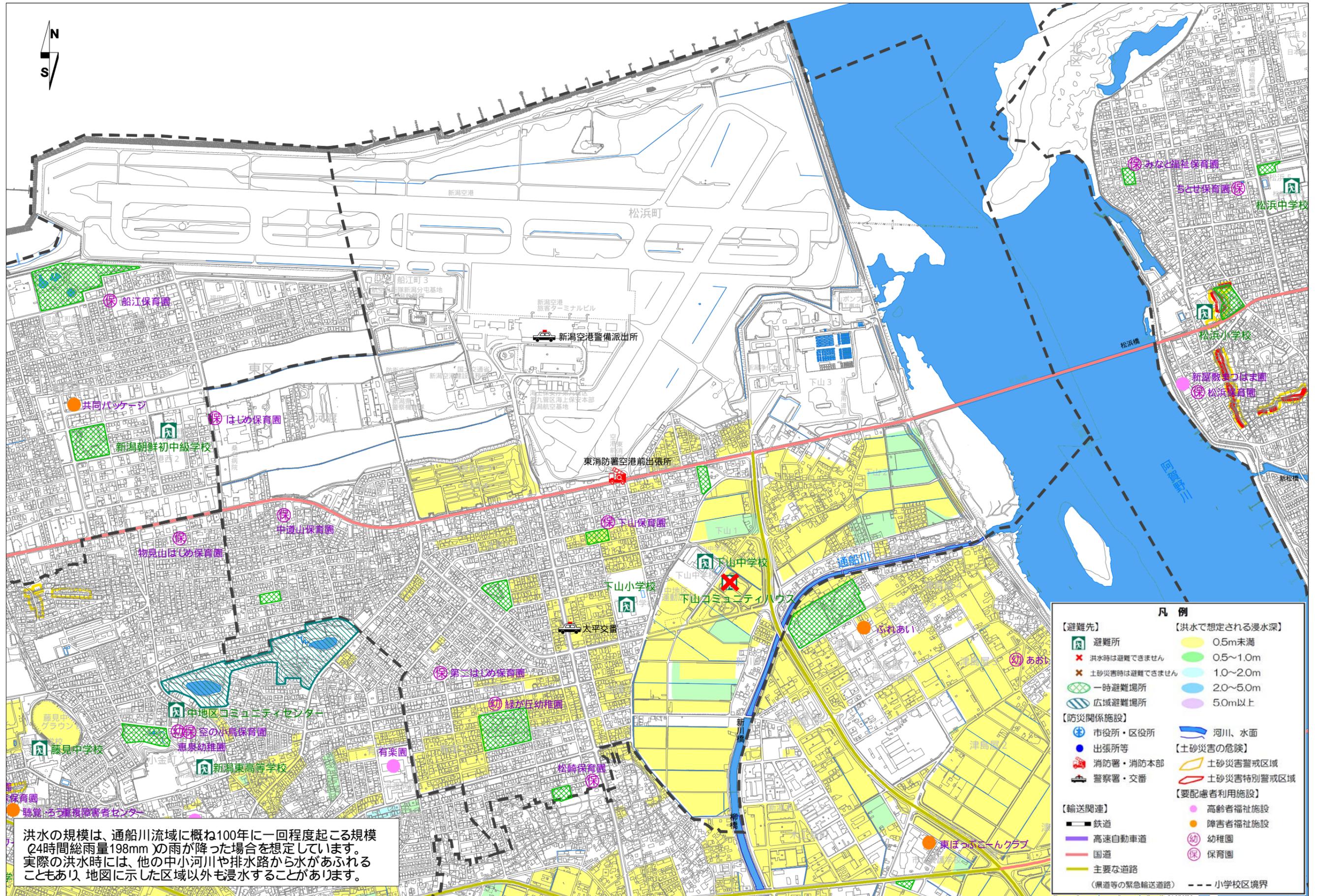
洪水の規模は、阿賀野川流域に概ね150年に一回程度起こる規模(48時間総雨量223mm)の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年) 阿賀野川浸水想定区域(国土交通省,平成14年1月31日)



様式6-2 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（通船川・栗ノ木川下流（新栗ノ木川））

下山小学校区



洪水の規模は、通船川流域に概ね100年に一回程度起こる規模（24時間総雨量198mm）の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

【出典】 基盤の地図 新潟市国土基本図（平成20年、平成25年、平成26年）  
通船川 栗ノ木川下流（新栗ノ木川）浸水想定区域（新潟県、平成17年8月25日）

